



2025年12月の賞与要求につきまして、要求書の内容通り満額回答とします。

本体の25年度第一四半期の業績は、過去最高の営業利益となり計画値を大幅に上回っています。また、上期業績としても、昨年の反動もあり海外顧客売上は苦戦していますが、識別顧客を中心に国内顧客売上が前年を上回っていることに加え、経費構造改革が年間計画を上回るペースで推移していることもあり、年間営業利益780億円の目標達成に向け、堅調に進捗しています。

健保においても、本年から第二期中長期計画がスタートし、保険料率維持、経常収支3期連続黒字達成の見通しなど、概ね中期計画が順調に推移していると捉えています。

しかしながら、本体の堅調な業績と賞与額の増加にもかかわらず、被保険者数の減少により、本年の健保の保険料収入は昨年に比べ、減少に転じる見込みです。さらに、エルダースタッフの構成の増加による医療費の増加は避けては通れず、今後、健保の財政状況は厳しくなっていくことが予測されています。

こうした状況を踏まえ、健保では、「三越伊勢丹グループの従業員と家族の人生を豊かにする健康サポート」を目指し、第二期中期計画（2025～2030年）の中で、**重点3項目として「健康経営」「コラボヘルス」「業務改革とデジタル基盤」に全員で取り組んでいます。**

いかに健康を維持しながら働き、活躍することができるか。これは、企業としても重要な課題であり、企業経営・労組・健保がともに、向き合っていく必要があると考えています。

グループ企業全体に健康経営が定着し、発展していくとともに、従業員一人ひとりが生涯健康に過ごしていくために、健保としても課題解決に一步ずつ取り組んでいきたいと考えています。

今後も、労使で様々な課題や情報を共有させて頂きながら、解決を図っていきたく思いますので、引き続き、労働組合のご協力をよろしくお願いいたします。